

愛媛医学会賞に2氏

熊木(愛媛大院)
教授 平岡(県中央病院) 氏 奨励賞3人

県医師会員らでつくる愛媛医学会(村上博会長)は、医学や地域医療の進歩向上に貢献した医師



を表彰する第29回愛媛医学研究科総合臨床研修センター長の熊木天児教授(51)と

平岡淳氏(48)の2人を選んだ。若手医師を対象とする愛媛医学会奨励賞には3人を選出した。

熊木氏は、慢性肝疾患の合併症で筋肉量が低下する「サルコペニア」に関し、別な病気の患者が定期的に受けた腹部画像検査が早期発見につながる

ことを示す研究をまとめた。

平岡氏は、大医学部附属病院の宇都宮健助教(35)、県立中央病院循環器内科の松田健翔医長(37)、済生会松山病院内科の村上主樹医師(29)らが受賞した。

賞は医学会が毎年選定。2020年に国内外の医学誌に掲載された論文の著者を対象に選考委員会で審査した。

(増田有梨)

た。

愛媛医学会奨励賞は愛媛

県立中央病院消化器内科の

た。

ことを示す研究をまとめた。

開催日時は30日と6月3日の午後2時~3時半、同の日午後4時~5時半。

回収伊藤

ラルウオ

の330ミ

トル製品約

を自主回

た。味に開

いた。

報告があつた。使用状況を

た。

に、子会社

を

た。

に開

いた。

に開